

みずほCustomer Desk Report 2017/09/25 号 (As of 2017/09/22)

[昨日の市況概要]

					公示仲値	112.30
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.46	1.1945	134.30	0.9704	1.3579	0.7930
SYD-NY High	112.55	1.2004	134.40	0.9709	1.3595	0.7986
SYD-NY Low	111.65	1.1937	133.50	0.9669	1.3450	0.7908
NY 5:00 PM	112.00	1.1955	133.79	0.9693	1.3495	0.7957
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			9.455/9.855	△25RR	0.840	Yen Call Over
NY DOW	22,349.59	▲ 9.64	債券市場	日本2年債	-0.1250	-
NASDAQ	6,426.92	4.23		日本10年債	0.0340	▲0.6bp
S&P	2,502.22	1.62		米国2年債	1.4310	▲0.7bp
日経平均	20,296.45	▲ 51.03		米国5年債	1.8614	▲2.5bp
TOPIX	1,664.61	▲ 4.13		米国10年債	2.2499	▲2.7bp
シカゴ日経先物	20,235.00	▲60.00		独10年債	0.4470	▲0.8bp
ロンドンFT	7,310.64	46.74	為替市況	英10年債	1.3550	▲1.2bp
DAX	12,592.35	▲7.68		豪10年債	2.7930	▲3.6bp
ハンセン指数	27,880.53	▲ 229.80		USD/CNH	6.5794	0.0108
上海総合	3,352.53	▲ 5.28	商品市況	ドルインデックス	92.17	▲0.09
USDJPY 3M Vol	9.85	0.03%		CRB指数	183.569	0.17
USDJPY 6M Vol	9.77	0.01%		NY金	1,297.50	2.70
EURJPY 3M Vol	9.80	0.14%		WTI	50.66	0.11
EURJPY 6M Vol	9.94	0.08%		Dubai Spot	54.98	0.32

東京	東京時間のドル円は112.46レベルでオープン。日経平均株価が高寄りしたこともあり、ドル円は高値112.55をつける局面があったものの、北朝鮮を巡るヘッドラインが出る中、上値追いはならなかった。北朝鮮を巡ってはトランプ米大統領が北朝鮮と取引する個人・企業等に新たな制裁を課す大統領令に署名した一方で、金朝鮮労働委員長が先日のトランプ米大統領による国連での演説について「必ず代償を払うことになる」「史上最も強硬な対抗措置を辞さない」との声明を発表。更に、北朝鮮外相が太平洋での水爆実験をかつて無い規模で実施する可能性を示唆したほか、理由は定かでないものの同外相が22日に行う予定であった国連一般演説が23日に延期となったと伝わる。これらが報じられてリスクオフムードが強まり、ドル円は111円台後半まで下落。一旦は112円台を回復したものの、小野寺防衛相から「(水爆実験の)太平洋までの運搬手段が弾道ミサイルであれば日本上空を通過することも否定できない」とのコメントも出る中、111.65の安値まで下落。午後に入っても111円台半ばで推移していたものの、引けにかけては小幅ながら反発し、111.98レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.98レベルでオープン。新規材料を欠く中、112円ちょうどをはさんだ24銭という狭いレンジでもみ合いとなり、112.02レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.3588レベルでオープン。メイ英首相のフィレンツェでの演説を控える中、ポーション調整と思われる動きもあり1.35台後半から1.35台半ばまで下落。英金利も低下する中でポンドドルはロンドン時間中盤にロンドン時間安値1.3538まで下落。その後小幅反発し、1.3562レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフリ 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、北朝鮮リスクの高まりを受けて安値111.65まで下落したが、その後反発して112.02レベルにてNYオープン。9月20日から22日にかけて行われる「キヤ教新年祭ロー・シハッシャー」に伴って市場参加者が減る中、ドル円は111.86から112.18の狭いレンジ内での小動きに終始した。特段目新しい材料もみられない中、ロンドン時間にレジスタンスとなっていた112.10レベルを上抜けたことから112.18まで上昇する場面もあった。しかし、地政学リスクが意識され米株が軟調に推移する中、積極的に上値を追う展開とはならず、111.86まで下落。その後は112.00を挟んで動きに欠ける推移が続く。112.00レベルでクロスした。尚、カプラン・ダラス連銀総裁の講演が行われ、「12月の利上げについて予断を持っていない」との発言が伝わったものの相場の動因とはならなかった。一方、ポンドドルは1.3562レベルでNYオープン。メイ首相の講演でソフ・ブレグジットについて言及がなかったことや、クロス間際に米大手格付会社が英国をAa1からAa2に格下げしたことから1.13450の安値まで下落し、1.3495レベルでクロスした。ユーロドルは海外時間に高値1.2004をつけたが、ドイツ総選挙を週末に控え積極的に上値を追う展開とはならず、安値1.1937まで下落し、1.1955レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 森谷・坂本

[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
9月22日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)・速報	9月 60.6/55.6/57.8	59.0/53.7/55.7
	17:00	欧 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)・速報	9月 58.2/55.6/56.7	57.2/54.8/55.6
	17:30	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
	19:00	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	22:30	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	22:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)・速報	9月 53.0/55.1/54.6	53.0/55.8/-
9月23日	02:30	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-

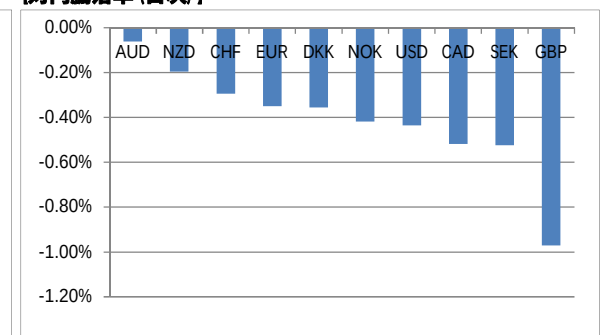
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
9月25日	09:30	日 日経PMI(製造業)・速報	9月 -	52.2
	14:30	日 黒田日銀総裁 講演	-	-
	17:00	独 IFO指数(企業景況感/期待/現況)	9月 116.0/108.0/124.7	115.9/107.9/124.6
	21:30	米 ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	8月 -0.25	-0.01
	22:00	米 ドラギECB総裁 講演	-	-

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.80-112.80	1.1850-1.2000	133.50-135.00

[マーケットインプレッション]

先週金曜日のドル/円は東京時間に大きく下落したが、次第に下落幅を縮小する展開となった。金北朝鮮労働委員長が先日のトランプ米大統領による国連での演説について「史上最も強硬な対抗措置を辞さない」と発言。更には北朝鮮外相が太平洋での水爆実験をかつて無い規模で実施する可能性を示唆したことでリスク回避の動きが強まり111.65まで下落。その後は目立った新規材料がない中、じりじりと値を戻し112.00を挟んでのもみ合い推移となった。本日のドル/円相場は底堅い推移を予想。北朝鮮リスクを受けての下落は一服しており、同問題に関して新規材料が無い限りは日米の金融政策格差を背景にドル買い優勢の展開となると予想する。